



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社アルファ

コード番号 3434 URL <http://www.kk-alpha.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 木之瀬 茂

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員

(氏名) 大谷 邦昭

TEL 045-787-8401

四半期報告書提出予定日 平成24年11月9日

配当支払開始予定日

平成24年12月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	23,962	8.5	1,062	89.2	1,019	169.8	624	201.7
24年3月期第2四半期	22,075	△4.7	561	△43.8	377	△53.8	207	△64.0

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 325百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 △29百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	65.40	—
24年3月期第2四半期	21.67	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率 %	1株当たり純資産 円 銭
	百万円	百万円	百万円	百万円		
25年3月期第2四半期	38,990	18,557	18,557	46.3	1,888.34	
24年3月期	38,901	18,463	18,463	46.0	1,871.24	

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 18,038百万円 24年3月期 17,875百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	13.00	—	17.00	30.00
25年3月期	—	15.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	48,300	1.3	1,600	△26.0	1,300	△29.3	750	△30.1	78.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、【添付資料】4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期2Q	10,200,000 株	24年3月期	10,200,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

25年3月期2Q	647,348 株	24年3月期	647,348 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	9,552,652 株	24年3月期2Q	9,552,778 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信に關しましては、四半期レビュー手続の対象外であり、四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施済みです。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) セグメント情報等	10
(7) 重要な後発事象	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、欧州での債務問題の長期化等に伴い、中国及び新興国での経済成長が鈍化するなど、不安定な状況が継続いたしました。

日本経済は、震災の復興需要があったものの、円高の長期化による輸出関連企業への影響や、世界景気の減速感を背景に停滞しております。

当社グループの属する自動車業界では北米、アジアにおいて生産台数が前年同期に比べ増加し、国内ではエコカー補助金の効果等により生産台数は堅調に推移いたしました。

セキュリティ機器業界では、新設住宅着工戸数がほぼ横ばいで推移し、設備投資は緩やかに持ち直しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高については、前年同四半期比8.5%増の239億62百万円となりました。利益面については、営業利益は10億62百万円（前年同四半期比89.2%増）、経常利益は10億19百万円（同169.8%増）、四半期純利益は6億24百万円（同201.7%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

自動車部品事業（日本）

自動車部品事業（日本）におきましては、海外への生産移管が進み、売上高は111億60百万円（前年同四半期比4.3%減）、営業利益は3億58百万円（同13.4%減）となりました。

自動車部品事業（北米）

自動車部品事業（北米）におきましては、主要得意先の自動車生産台数が増加したことにより増収となりましたが、アメリカからメキシコへの生産移管に伴う一時費用が発生したこと等により、売上高は42億67百万円（同5.3%増）、営業損失は4億43百万円（前年同四半期は営業損失2億77百万円）となりました。

自動車部品事業（アジア）

自動車部品事業（アジア）におきましては、主要得意先の自動車生産台数が増加したことにより、売上高は88億32百万円（同30.1%増）、生産効率の向上や合理化等により営業利益は9億87百万円（同136.8%増）となりました。

セキュリティ機器事業（日本）

セキュリティ機器事業（日本）におきましては、住宅製品の新品（電気錠）が大手ドアメーカーに標準採用され、また、レジャー施設の利用者数が堅調に推移しロッカーのオペレーション収益が増加いたしました。以上の結果、売上高は30億22百万円（同26.7%増）、営業利益は1億80百万円（前年同四半期は営業利益1百万円）となりました。

セキュリティ機器事業（海外）

セキュリティ機器事業（海外）におきましては、昨年後半のタイでの洪水の影響が引き続きあり、売上高は58百万円（同31.7%減）、営業利益は17百万円（同41.2%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は224億38百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億86百万円減少いたしました。これは、受取手形及び売掛金が3億68百万円、原材料及び貯蔵品が4億9百万円増加しましたが、現金及び預金が14億63百万円減少したこと等によるものであります。固定資産は165億51百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億75百万円増加いたしました。これは主に、有形固定資産が9億79百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、389億90百万円となり、前連結会計年度末に比べ88百万円増加いたしました。

(負債の部)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は119億99百万円となり、前連結会計年度末に比べ18百万円減少いたしました。これは、短期借入金が5億82百万円増加しましたが、支払手形及び買掛金が2億89百万円、事業構造改善引当金が95百万円減少したこと等によるものであります。固定負債は84億33百万円となり、前連結会計年度末に比べ13百万円増加いたしました。これは主に、長期借入金が97百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は、204億32百万円となり、前連結会計年度末に比べ5百万円減少いたしました。また、有利子負債は、95億82百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億82百万円増加いたしました。

(純資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は185億57百万円となり、前連結会計年度末に比べ94百万円増加いたしました。これは、利益剰余金が4億62百万円増加、その他有価証券評価差額金が2億7百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は46.3%（前連結会計年度末は46.0%）となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動により3億90百万円の増加、投資活動により16億37百万円の減少、財務活動により2億3百万円の増加となりました。また「営業活動によるキャッシュ・フロー」と「投資活動によるキャッシュ・フロー」との差額であるフリー・キャッシュ・フローは12億47百万円の支出となり、前年同四半期の12億70百万円の支出から23百万円の支出の減少となりました。

以上の結果、換算差額を含めた当第2四半期連結会計期間末における資金の残高は、前第2四半期連結会計期間末に比べ10億5百万円増加の64億33百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による収入は3億90百万円となり、前年同四半期の2億23百万円の支出に対し6億14百万円の収入の増加となりました。これは主として仕入債務の増減額が4億83百万円増加したこと等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による支出は16億37百万円となり、前年同四半期の10億47百万円の支出に対し5億90百万円の支出の増加となりました。これは主として有形固定資産の取得による支出が9億25百万円増加したこと等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による収入は2億3百万円となり、前年同四半期の44百万円の収入に対し1億59百万円の増加となりました。これは、短期借入れによる収入が4億6百万円増加しましたが、短期借入金の返済による支出が1億50百万円増加したこと、長期借入金の返済による支出が1億32百万円増加した等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の連結業績予想につきましては、平成24年5月15日に公表いたしました連結業績予想を修正いたしました。具体的内容につきましては、平成24年11月9日公表の「業績予想値と決算値との差異及び業績予想の修正等に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（減価償却方法の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,807	6,343
受取手形及び売掛金	9,039	9,407
商品及び製品	1,173	916
仕掛品	701	846
原材料及び貯蔵品	2,916	3,325
その他	1,600	1,611
貸倒引当金	△13	△12
流動資産合計	23,225	22,438
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,880	3,862
機械装置及び運搬具(純額)	2,513	2,577
土地	1,505	1,664
その他(純額)	2,862	3,637
有形固定資産合計	10,762	11,741
無形固定資産	815	692
投資その他の資産	4,098	4,117
固定資産合計	15,676	16,551
資産合計	38,901	38,990
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,831	6,542
短期借入金	2,256	2,838
未払法人税等	150	231
賞与引当金	471	434
製品保証引当金	181	222
事業構造改善引当金	95	—
その他	2,031	1,728
流動負債合計	12,017	11,999
固定負債		
長期借入金	5,130	5,227
退職給付引当金	585	542
資産除去債務	67	67
その他	2,636	2,595
固定負債合計	8,420	8,433
負債合計	20,437	20,432

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,760	2,760
資本剰余金	2,952	2,952
利益剰余金	13,215	13,677
自己株式	△578	△578
株主資本合計	18,349	18,811
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,262	1,055
為替換算調整勘定	△1,736	△1,828
その他の包括利益累計額合計	△474	△773
少数株主持分	588	518
純資産合計	18,463	18,557
負債純資産合計	38,901	38,990

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	22,075	23,962
売上原価	19,072	20,198
売上総利益	3,002	3,764
販売費及び一般管理費	2,441	2,701
営業利益	561	1,062
営業外収益		
受取利息	13	19
受取配当金	48	30
その他	51	70
営業外収益合計	113	120
営業外費用		
支払利息	60	61
為替差損	221	58
その他	14	42
営業外費用合計	296	163
経常利益	377	1,019
特別利益		
固定資産売却益	3	39
特別利益合計	3	39
特別損失		
固定資産除売却損	19	23
製品保証引当金繰入額	—	79
その他	0	25
特別損失合計	19	127
税金等調整前四半期純利益	361	931
法人税、住民税及び事業税	168	373
法人税等調整額	△31	△52
法人税等合計	137	320
少数株主損益調整前四半期純利益	224	610
少数株主利益又は少数株主損失(△)	17	△13
四半期純利益	207	624

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	224	610
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△175	△207
為替換算調整勘定	△77	△78
その他の包括利益合計	△253	△285
四半期包括利益	△29	325
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△50	325
少数株主に係る四半期包括利益	20	△0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	361	931
減価償却費	984	799
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△13	△3
受取利息及び受取配当金	△61	△49
支払利息	60	61
固定資産売却損益 (△は益)	△2	△39
固定資産除却損	18	23
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△19	△36
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△3	41
売上債権の増減額 (△は増加)	△617	△486
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△197	△272
仕入債務の増減額 (△は減少)	△641	△157
長期未払金の増減額 (△は減少)	△66	△16
その他	176	△117
小計	△22	677
利息及び配当金の受取額	68	48
利息の支払額	△57	△52
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△211	△282
営業活動によるキャッシュ・フロー	△223	390
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△75	△164
定期預金の払戻による収入	112	278
有形固定資産の取得による支出	△934	△1,860
有形固定資産の売却による収入	724	303
無形固定資産の取得による支出	△6	△23
関係会社株式の取得による支出	—	△158
その他	△867	△12
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,047	△1,637
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	406
短期借入金の返済による支出	—	△150
長期借入れによる収入	1,500	1,506
長期借入金の返済による支出	△950	△1,082
配当金の支払額	△171	△162
その他	△333	△313
財務活動によるキャッシュ・フロー	44	203
現金及び現金同等物に係る換算差額	11	△209
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,214	△1,253
現金及び現金同等物の期首残高	6,643	7,686
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,428	6,433

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(6) セグメント情報等
(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自動車 部品事業 (日本)	自動車 部品事業 (北米)	自動車 部品事業 (アジア)	セキュリテ ィ機器事業 (日本)	セキュリテ ィ機器事業 (海外)	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	9,358	4,025	6,269	2,365	55	22,075	—	22,075
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	2,299	27	520	18	28	2,895	△2,895	—
計	11,657	4,052	6,790	2,384	84	24,970	△2,895	22,075
セグメント利益 又は損失(△)	413	△277	417	1	12	566	△4	561

(注) 1. セグメント利益の調整額△4百万円は、セグメント間取引消去△4百万円であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自動車 部品事業 (日本)	自動車 部品事業 (北米)	自動車 部品事業 (アジア)	セキュリテ ィ機器事業 (日本)	セキュリテ ィ機器事業 (海外)	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	8,685	4,242	8,014	3,005	13	23,962	—	23,962
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	2,474	24	817	16	44	3,377	△3,377	—
計	11,160	4,267	8,832	3,022	58	27,340	△3,377	23,962
セグメント利益 又は損失(△)	358	△443	987	180	17	1,101	△38	1,062

(注) 1. セグメント利益の調整額△38百万円は、セグメント間取引消去△38百万円であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(7) 重要な後発事象

(重要な子会社の設立)

当社は、平成24年10月30日開催の取締役会において、下記のとおり中国に現地法人（孫会社）を設立することを決議いたしました。

1. 設立の目的

情勢の悪化に伴い各自動車メーカーが生産調整する状況下にはありますが、中国の自動車市場は、今後も拡大が予想されており、当社事業戦略の重要な地域の一つであります。当社は現在、広州に生産拠点を有しておりますが、今後、中国内陸部の生産拡大が見込まれることを踏まえ、襄陽に新たな生産拠点を設立することといたしました。

2. 設立する会社の名称、事業内容、資本金等

(1) 商号	ALPHA (XIANGYANG) AUTOMOTIVE PARTS CO., LTD.
(2) 代表者	多胡 薫
(3) 本店所在地	中華人民共和国湖北省襄陽市高新区
(4) 事業内容	自動車部品の製造及び販売
(5) 資本金の額	35,000千人民元

3. 設立の時期

平成24年11月（予定）

4. 設立後の持分比率

当社連結子会社 ALPHA (GUANGZHOU) AUTOMOTIVE PARTS Co., LTD.	75%
当社	25%